

2026年3月期 第2四半期 決算補足説明資料

2025 年 11 月 13 日



株式会社 東邦システムサイエンス

<https://www.tss.co.jp/>

証券コード：4333 東京証券取引所 プライム市場

目 次

1. 経営戦略トピックス

2. 2026年3月期 第2四半期決算

3. 2026年3月期 業績見通し

4. 参考資料

1. 経営戦略トピックス

東邦システムサイエンスとランドコンピュータとの 共同持株会社設立（共同株式移転）による経営統合に関するお知らせ



株式会社東邦システムサイエンス



株式会社ランドコンピュータ

2025 年 11 月 13 日

本経営統合の背景と目的

外部・内部環境の変化とともに、求められる機能、役割の変化を背景に、各々の強みを組み合わせることで
Sier業界の新たな核を成す新会社としてバリューチェーン全体への価値向上を追求してまいります。



東邦生命保険相互会社
情報子会社(1971.6設立)

業務のTSS(強み)

- ①創業50年以上
- ②金融コア型経営（顧客基盤）
- ③戦略的互惠関係
- ④業務人財開発（育成・教育）



技術のR&D(強み)

- ①創業50年以上
- ②幅広い強固な顧客基盤
- ③長期的協力関係構築
- ④技術人財開発（育成・教育）



独立系システムインテグレータ
(1971.1設立)

シナジー発現

“社会課題解決プロデューサー”

①顧客基盤と事業ポートフォリオの拡充

②新規サービスの創出・プロジェクトの効率化

③人財・組織体制の強化

④コスト効率化と経営基盤の強化

背景

外部環境の変化

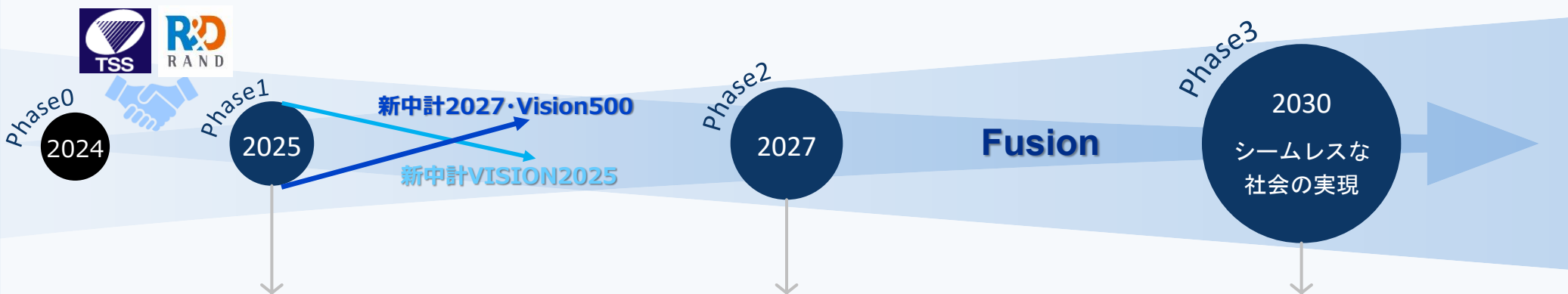
- システム・ソフトウェア刷新
- サイバーセキュリティ
- AIブーム（第4次）
- 東証ルール(次期TOPIX)
- ビジネスモデルの変革
- 競争激化

お客様

- DX推進（投資）加速
- ニーズの変化、多様化
- 規模拡大
- 生産効率化へのインセンティブ
- 社内体制の見直し
- 内製化の加速

シームレスな社会の実現に向け、事業シナジーによるポートフォリオの変革及び競争力の強化に注力

【経営目標（2031年3月期）】 売上高：500 億円



▶2025-2026

HOP（合流）：量的拡大

- ✓ 顧客ニーズの拡充
- ✓ 提案力及び競争力の強化（技術者増）
- ✓ ポートフォリオ変革（マーケット拡大）
- ✓ サービスビジネス領域の更なる拡大

事業規模拡大を見据えた積極投資

▶2026-2028

STEP（融合）：質向上

- ✓ DX推進対応力 更なる向上
- ✓ デジタルビジネスへの注力
- ✓ ストック収益の向上（業務×技術）
- ✓ コーポレート領域強化（仕組み化）

付加価値拡大による更なる収益増加

▶2028-2030

JUMP（発展）：独創性

- ✓ 顧客、業種、業態を超えた社会課題解決
- ✓ 高度な提案力（応用転化）
- ✓ 市場の共通及び個別ニーズの解析
- ✓ 新プラットフォームビジネスの確立

一体型の融和・融合プレゼンスの発揮

【シナジー】顧客基盤と事業ポートフォリオの拡充、案件獲得力の向上

半世紀以上にわたり、両社が培ってきたお客様との戦略的な互惠関係（接点、ノウハウ等）を融合し、「業務のTSS」「技術のR&D」が一体となり、体制を融和させ、受注機会の拡大・サービス拡充を図る。

社会課題解決プロデューサーとして生産性を高め、お客様の競争優位性を共創

顧客基盤、事業領域拡大(受注機会創出)

双方の領域をあわせるとともにノウハウを連携

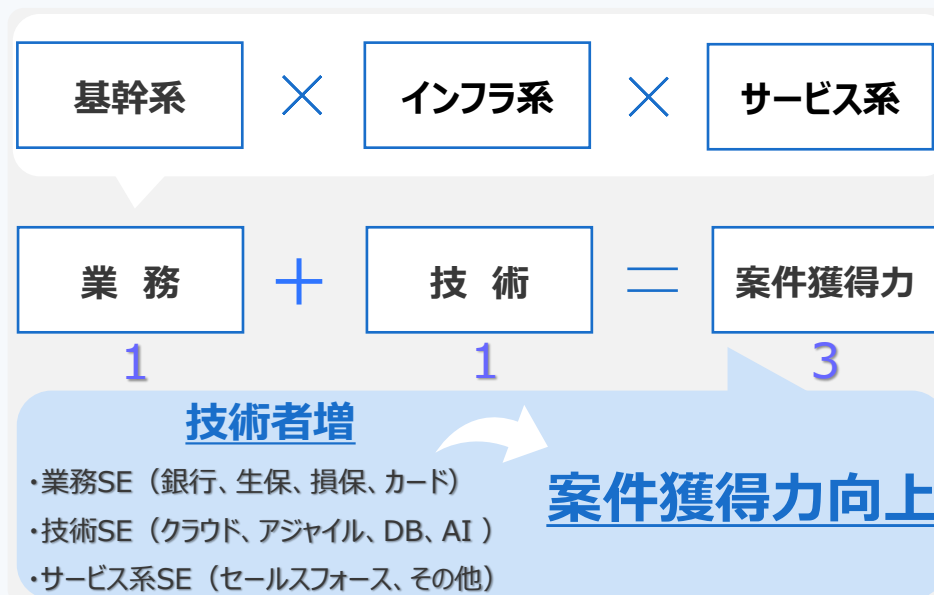
➡認知拡大による**クロスセル・アップセル機会拡大**



技術者増によるサービス拡充(LTV向上)

技術者連携の恒常化に伴うサービスの拡充・スケールアップ

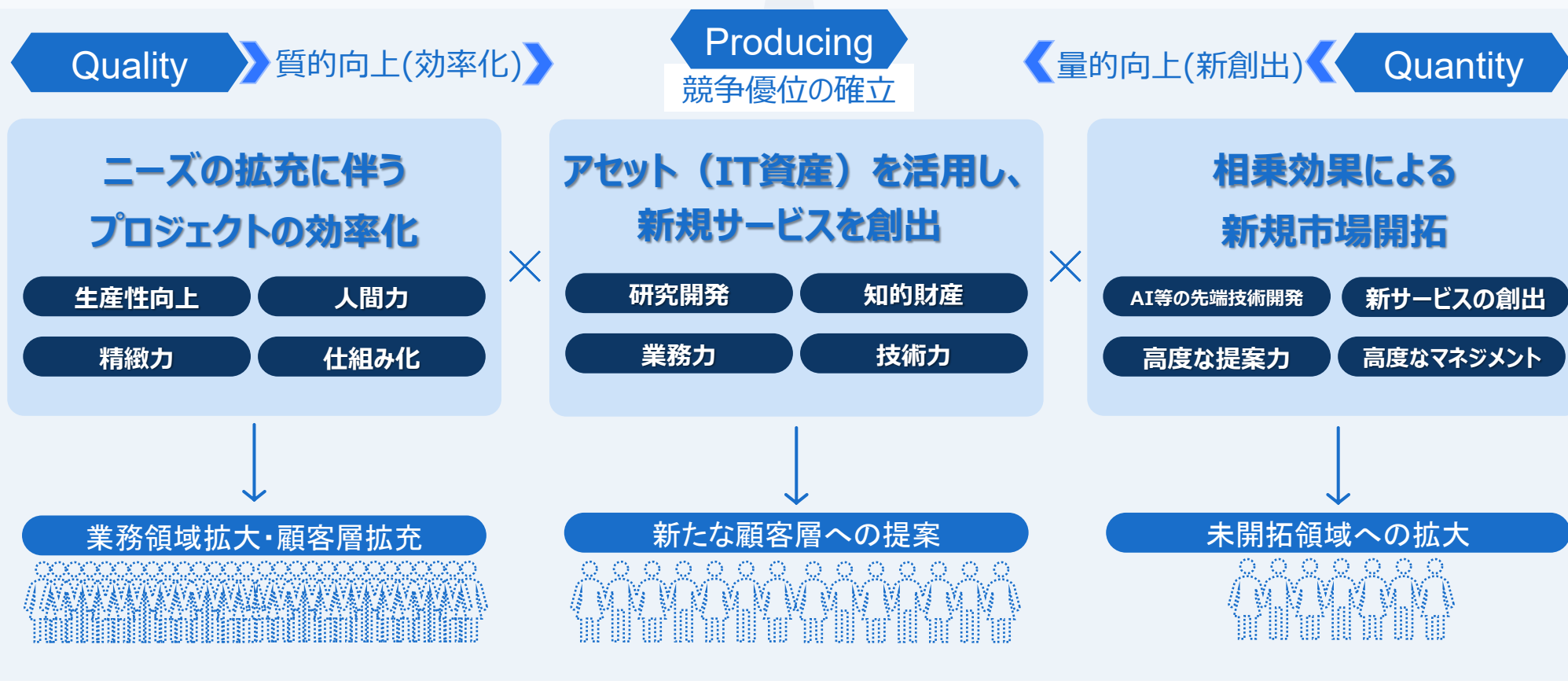
➡**案件獲得力向上**



【シナジー】新規サービスの創出・プロジェクトの効率化

半世紀以上にわたり、両社が培ってきたお客様との戦略的な互惠関係（接点、ノウハウ等）を融合し、「業務のTSS」「技術のR&D」が一体となり、体制を融和させ、提案力、品質・生産性を抜本的に向上させる。

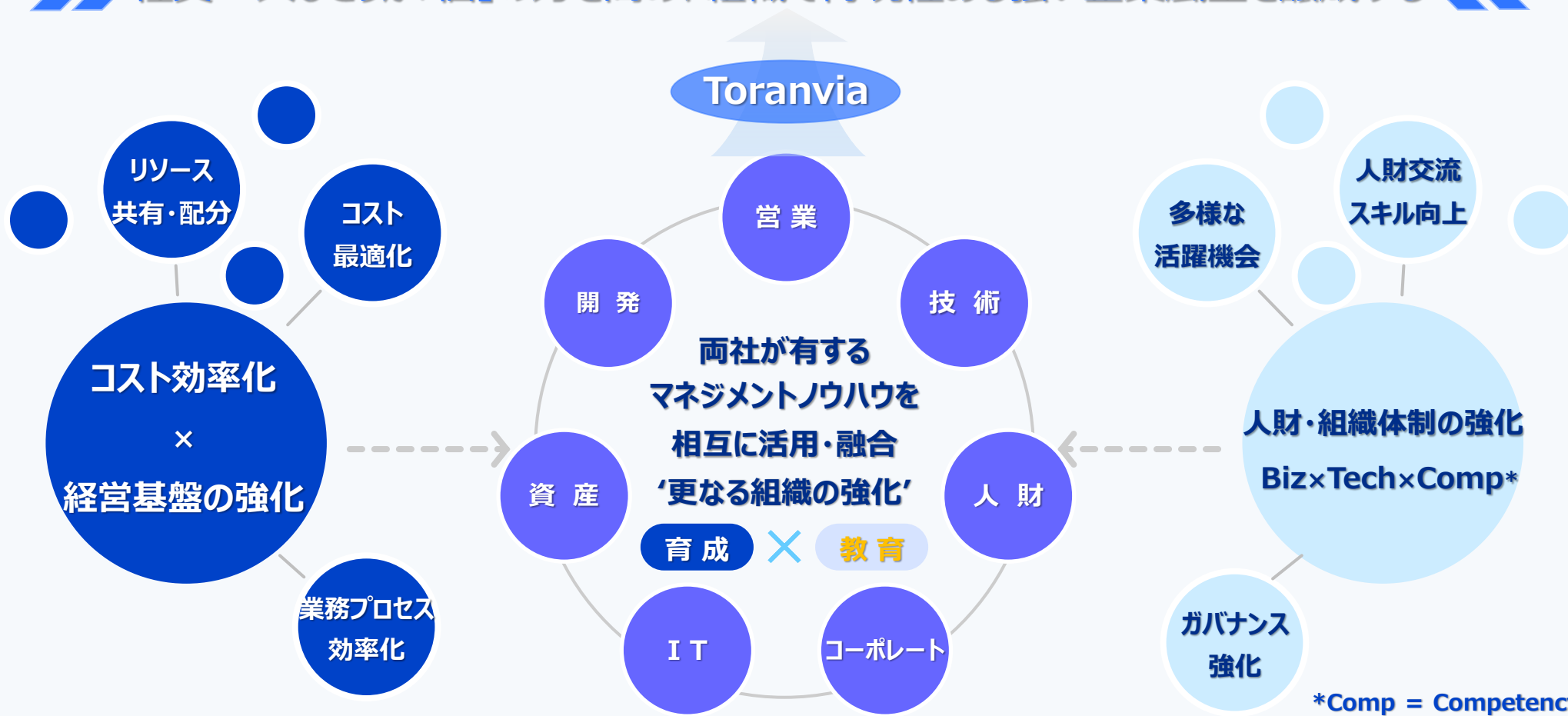
社会課題解決プロデューサーとして生産性を高め、お客様の競争優位性を共創



【シナジー】最適な仕組み作りと企業風土の醸成

「育成のTSS」「教育のR&D」が一体となり、体制を融和させながら、
組織力の向上と個の成長をもって、お客様のニーズへの対応力を強化

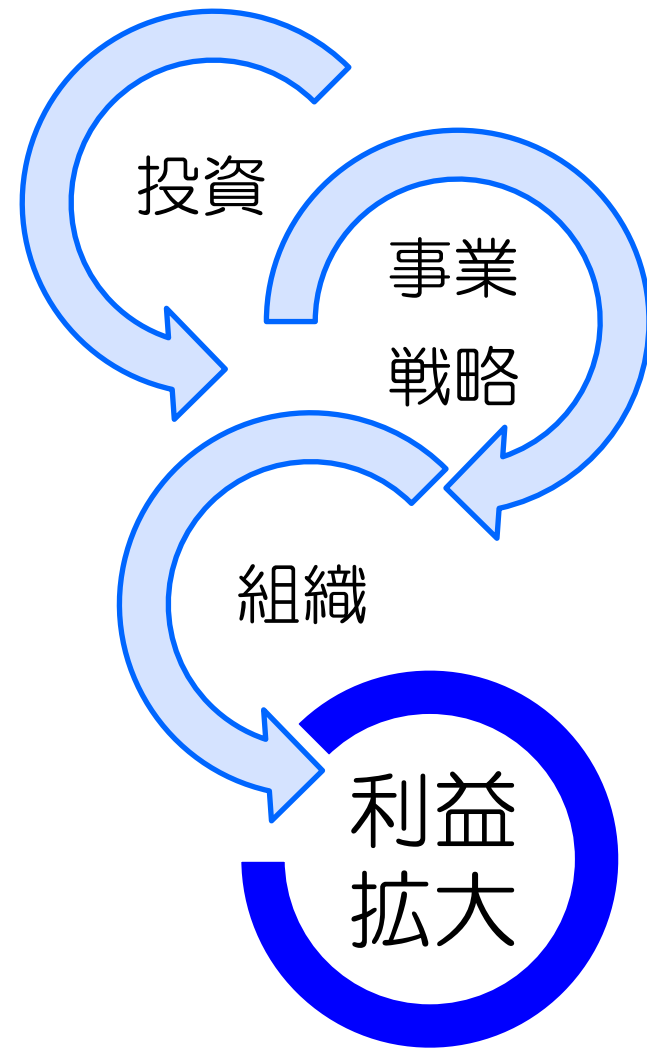
社員一人ひとりが「個」の力を高め、組織で再現性ある強い企業風土を醸成する



「**TOHO** + **RAND** + **Via（道）**」 = **Toranvia**



2. 2026年3月期 第2四半期決算



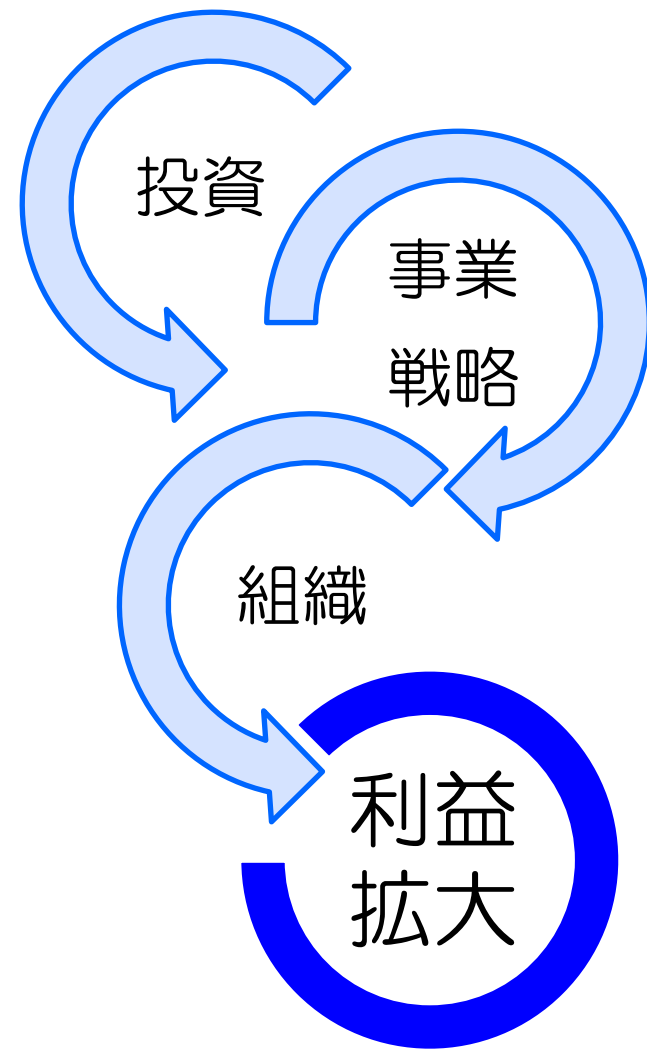
営業力の強化（ISAツールの活用）

DX開発推進センターを活用した受注規模の拡大

DX案件の受注、拡大

統合、マイグレーション案件の拡大、新規受注

【生産面】注力した取り組み事項



人的リソースの有効活用（徹底した稼働管理）

若手社員の教育投資（DX技術資格、Java資格取得）

ビジネスパートナーの増強を図るためのパートナープール制度

マルチプロジェクトマネージャの育成

生成AIを活用した生産性向上

徹底したプロジェクト監視による品質向上

(単位：百万円)

	2025.3月期 第2四半期	2026.3月期 第2四半期	増減額	増減率(%)
売上高	8,783	8,592	△190	△2.2%
営業利益 (営業利益率)	750 8.5%	884 10.3%	134	17.9%
経常利益 (経常利益率)	757 8.6%	889 10.4%	132	17.5%
四半期純利益	511	600	88	17.3%

(単位：百万円)

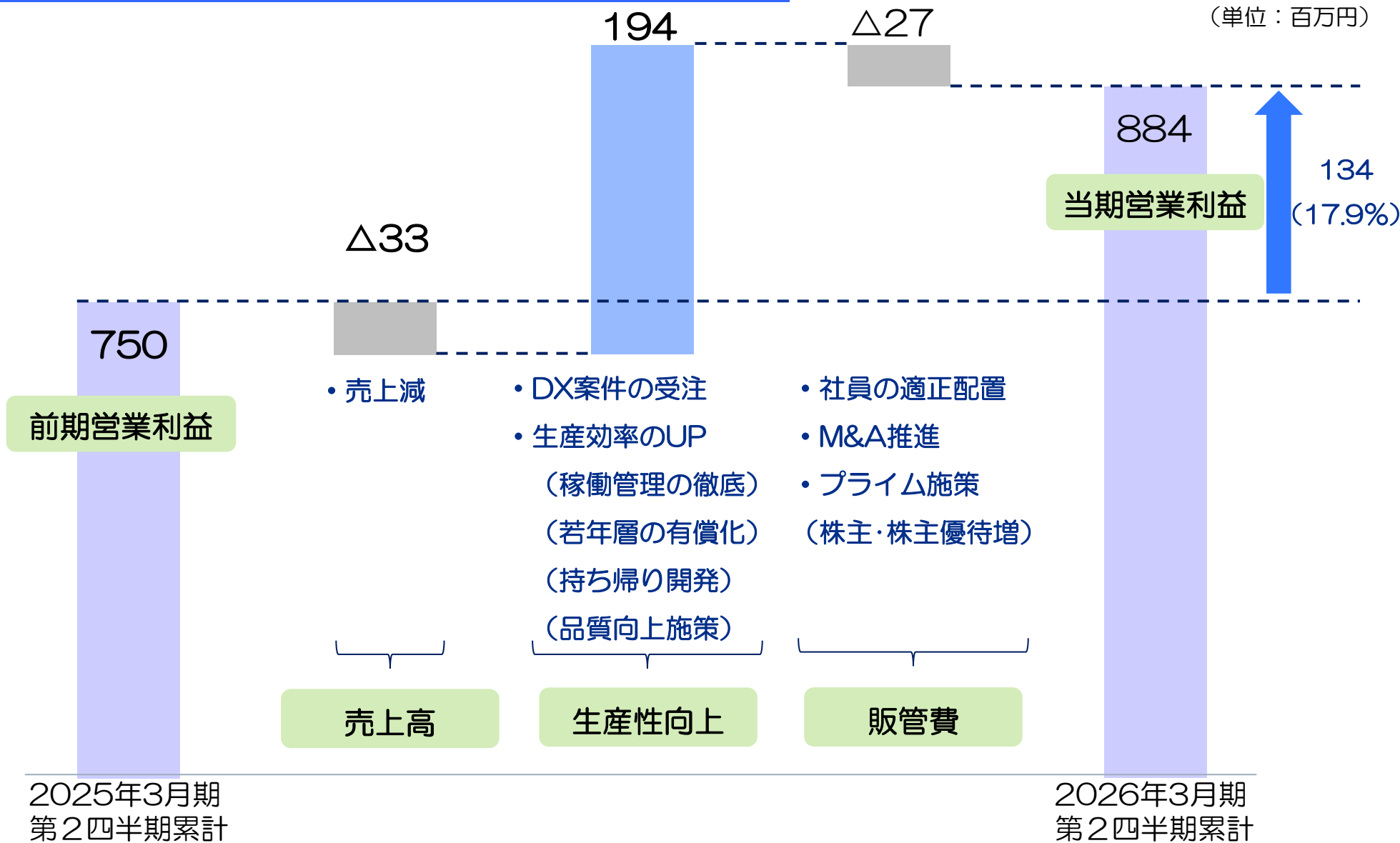
セグメント		2025.3月期 第2四半期	2026.3月期 第2四半期	増減額	増減率(%)
ソフトウェア開発		8,606	8,423	△182	△2.1%
	金 融	6,227	5,895	△332	△5.3%
	非金融	2,378	2,528	149	6.3%
情報システムサービス等		177	169	△8	△4.6%
合 計		8,783	8,592	△190	△2.2%

業種別売上高（ソフトウェア開発）

（単位：百万円）

業 種		2025.3月期 第2四半期	2026.3月期 第2四半期	増減額	増減率(%)
金 融		6,227	5,895	△332	△5.3%
	銀行	1,494	1,447	△47	△3.2%
	証券	633	597	△35	△5.7%
	生命保険	1,300	988	△311	△24.0%
	損害保険	2,072	2,053	△18	△0.9%
	その他	727	809	82	11.3%
非金融		2,378	2,528	149	6.3%
	通信	810	924	114	14.1%
	その他	1,567	1,603	35	2.3%

セグメント	業種	売上高増減要因
金 融	銀行	(一) ネットバンキング案件の収束
	証券	(一) ネット系証券会社の案件対応の区切り
	生命保険	(一) ネット生命保険会社向け基幹システムの縮小
	損害保険	(一) 基幹系システム保守案件の縮小
	その他	(++) リース会社向けのパッケージ活用案件拡大 ファイナンス会社向けのシステム更改案件拡大
非金融	通信	(++) データ活用基盤構築案件の拡大
	その他	(+) 公務、情報サービスでDX案件拡大



3. 2026年3月期 業績見通し

業種別 受注残高(ソフトウェア開発)

(単位：百万円)

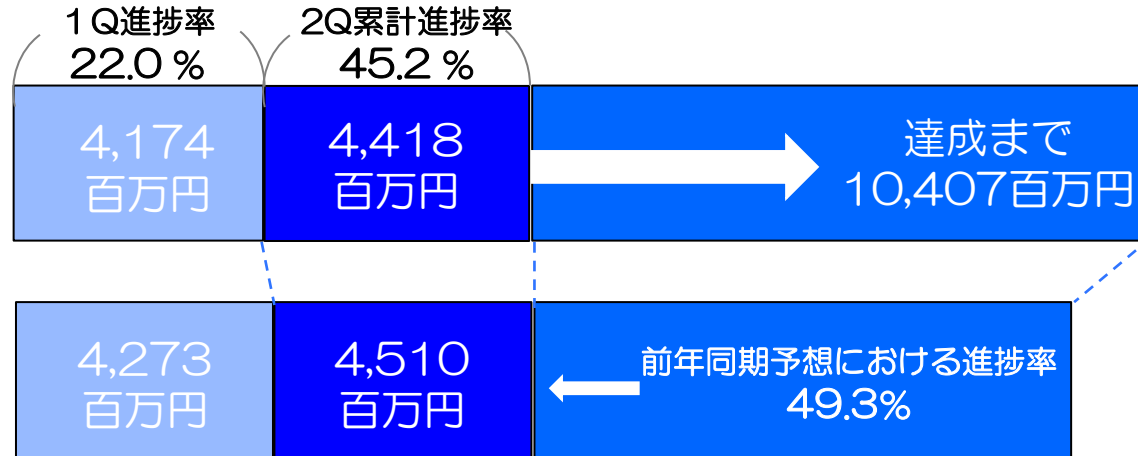
業種		2025.3月期 第2四半期末	2026.3月期 第2四半期末	増減額	増減率
金融	銀行	524	507	△17	△3.3%
	証券	211	264	53	25.1%
	生命保険	363	296	△66	△18.3%
	損害保険	559	701	142	25.4%
	その他	339	260	△78	△23.2%
非金融	通信	251	262	10	4.3%
	その他	324	446	121	37.6%
合 計		2,573	2,739	166	6.5%

(単位：百万円)

	2025.3月期 実績	2026.3月期 予想	増減額	増減率(%)
売上高	17,342	19,000	1,657	9.6%
営業利益 (営業利益率)	1,658 9.6%	1,710 9.0%	51	3.1%
経常利益 (経常利益率)	1,627 9.4%	1,720 9.1%	92	5.7%
当期純利益	1,194	1,195	0	0.0%

売上、営業利益ともに、Q単位に右肩上がりで推移

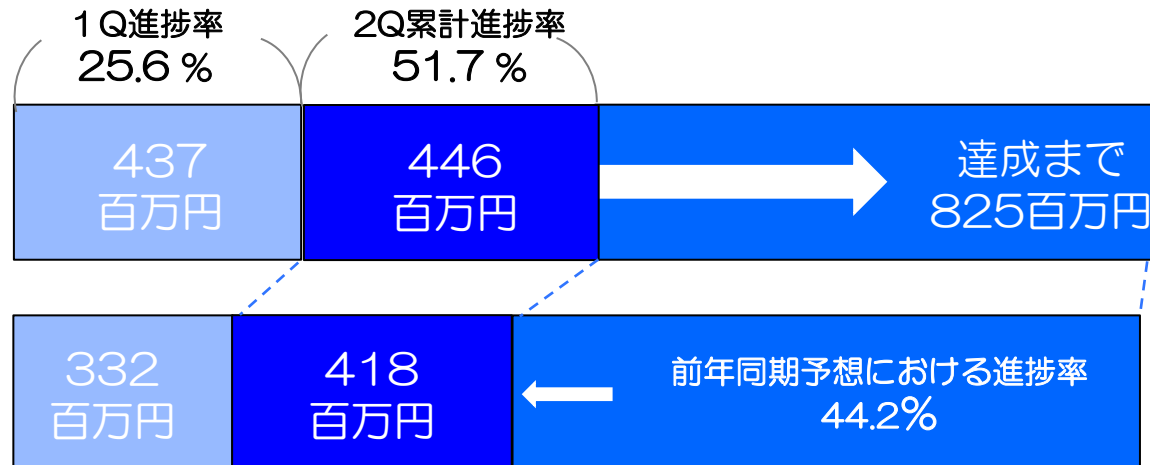
売上



通期予想
19,000 百万円

前年通期予想
17,800 百万円

営業利益



通期予想
1,710 百万円

前年通期予想
1,700 百万円

4. 参考資料

貸借対照表

(単位：百万円)

前事業年度
(2025年3月31日)

当第2四半期会計期間
(2025年9月30日)

資産の部

流動資産	11,420	11,525
固定資産	1,554	1,686
資産合計	12,975	13,211

負債の部

流動負債	2,021	1,994
固定負債	2,132	2,135
負債合計	4,154	4,129

純資産の部

株主資本	8,474	8,666
評価・換算差額等	346	415
純資産合計	8,820	9,082
負債純資産合計	12,975	13,211

最適なシステムソリューションを 提供する高信頼企業！

皆様におかれましては、今後ともご支援のほど、
よろしくお願い申し上げます。

* 本資料についてのご注意

本資料は、2026年3月期第2四半期の業績および今後の業績見通しに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に記載されている株式会社東邦システムサイエンスの将来予想に関する事項は、現時点における情報に基づき判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。

なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。